

日本薬局方

ベンザルコニウム塩化物液

400 サラヤ塩化ベンザルコニウム10%液

〈殺菌消毒剤〉

浸漬する必要がある場合は、腐蝕を防止するために0.1%溶液に0.5~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。ウ。皮革製品の消毒に使用すると、変質させることがあるので、使用しないこと。

【薬効薬理】

本剤は芽胞のない細菌、カビ類、すなわちグラム陽性・陰性菌のみならず、真菌類にも有効であるが、結核菌及び大部分のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

*【取扱上の注意】

〈安定性試験〉1) 加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヶ月)の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

*【主要文献】

1) サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 資料

*【文献請求先】

サラヤ株式会社 学術部
〒641-0051 大阪府中央区備後町4-2-5
TEL. (06) 4706-3938

ゴミ75%削減 減容ボトル

- ① ボトルの真ん中を両手で持ち、つぶす。
- ② しっかりと押さえ込んだ後、空気が入らないようにキャップをしめ、廃棄する。



製造番号：底面記載
使用期限：底面記載

容器 ボトル：ブラ(PE)
材質 キャップ：ブラ(PP)
ラベル：ブラ(PE)

日本薬局方

ベンザルコニウム塩化物液

500 サラヤ塩化ベンザルコニウム10%液

〈殺菌消毒剤〉

**2008年 9月改訂(第3版)

*2008年 3月改訂(第2版)

日本標準品分類番号 | 872616

承認番号 21700AMZ00238000

薬価収載 2005.5 販売開始 2005.6

貯法：気密容器

*【組成・性状】

本剤は日本薬局方ベンザルコニウム塩化物液で、ベンザルコニウム塩化物10% μ g/gを含有する。無色~淡黄色澄明の液で、特異なにおいがある。振ると強く泡立つ。

【効能・効果】

1. 手指・皮膚の消毒 2. 手術部位(手術野)の皮膚の消毒 3. 手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒 4. 感染皮膚面の消毒 5. 医療機器の消毒 6. 手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒 7. 履洗淨 8. 結膜囊の洗淨・消毒

*【用法・用量】

〔1〕手指・皮膚の消毒：通常石けんで十分に洗淨し、水で石けん分を十分に洗い落とし、その後、ベンザルコニウム塩化物0.05~0.1% (本剤の100~200倍) 溶液に浸して洗い、滅菌ガーゼあるいは布片で拭拭する。術前の手洗の場合には、5~10分間ブラッシングする。〔2〕手術部位(手術野)の皮膚の消毒：手術前局

サラヤ株式会社

大阪市東住吉区湯里2-2-8
TEL.06-6797-2525

日本薬局方

ベンザルコニウム塩化物液

400 サラヤ塩化ベンザルコニウム10%液

〈殺菌消毒剤〉

所皮膚面をベンザルコニウム塩化物0.1% (本剤の100倍) 溶液で、約5分間洗い、その後ベンザルコニウム塩化物0.2% (本剤の50倍) 溶液を塗布する。〔3〕手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒：ベンザルコニウム塩化物0.01~0.025% (本剤の400~1,000倍) 溶液を用いる。〔4〕感染皮膚面の消毒：ベンザルコニウム塩化物0.01% (本剤の1,000倍) 溶液を用いる。〔5〕医療機器の消毒：ベンザルコニウム塩化物0.1% (本剤の100倍) 溶液に10分間浸漬するか、又は厳密に消毒する際は、器具を予め2%炭酸ナトリウム水溶液で洗い、その後ベンザルコニウム塩化物0.1% (本剤の100倍) 溶液中で15分間煮沸する。〔6〕手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒：ベンザルコニウム塩化物0.05~0.2% (本剤の50~200倍) 溶液を布片で塗布・拭拭するか、又は噴霧する。〔7〕履洗淨：ベンザルコニウム塩化物0.02~0.05% (本剤の200~500倍) 溶液を用いる。〔8〕結膜囊の洗淨・消毒：ベンザルコニウム塩化物0.01~0.05% (本剤の200~1,000倍) 溶液を用いる。〈希釈方法〉本剤のキャップ1杯は約13mLです。・100倍希釈：本剤キャップ1杯を水1.3Lに溶かす。・200倍希釈：本剤キャップ1杯を水2.6Lに溶かす。

*【使用上の注意】

●重要な基本的注意

1. 本剤は必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。
 2. 炎症又は易刺激性の部位(粘膜、陰股部等)に使用する場合には、通常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
 3. 深い創傷又は眼に使用する場合は希釈液としては、注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
- 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。(再審査対象外)
- 過敏症 発疹、そう痒感等の過敏症状(頻度不明)があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。
- 臨床検査結果に及ぼす影響 本剤で消毒したカテーテルで採取した尿は、スルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽

日本薬局方

ベンザルコニウム塩化物液

500 サラヤ塩化ベンザルコニウム10%液

〈殺菌消毒剤〉

陽性を示すことがある。

●適用上の注意

1. 人体 (1) 投与経路：経口投与しないこと。涙液には使用しないこと。(2) 使用時：ア。原液又は濃厚液が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。イ。濃厚液の使用により、皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。ウ。粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと(全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある)。エ。密封包帯、ギプス包帯、バックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。
2. その他 (1) 調製方法：ア。希釈液として塩類含量の多い水又は硬水を用いる場合には、通常用いる濃度の1.5~2倍の溶液として使用すること。イ。繊維、布(綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等)は本剤の成分であるベンザルコニウム塩化物を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように注意すること。(2) 使用時：ア。血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合は、十分に洗い落してから使用する。イ。石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落してから使用すること。ウ。皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。(3) 器具等材質：ア。合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗薬カテーテル等への使用は避けることが望ましい。イ。金属器具を長時間

MADE IN JAPAN



〈調剤包装単位用〉
2150106918490412